

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻、麦を主体として、地域の農地を維持・保全している中山間地域
- 農業従事者の高齢化が進み、特に現役世代(30歳～59歳)農家が減少。農家数の減少や営農組織活動を維持していくために農業の担い手確保・育成が重要な課題

【支援内容・背景】

- 当地区では、担い手不足により荒廃農地が増加しており、農地の保全のためには担い手の確保、農業技術の習得や農業規模拡大による農業経営改善が必要。
- 助成対象者((株)山紫に水清く)は、飼料用米、麦、大豆を中心に経営を行っており、地域の担い手として経営安定のためには更なる農作業の効率化を進め、規模拡大を支援することが有効であり、地域の大規模農業経営の取組モデルとして支援を実施。



助成対象者「(株)山紫に水清く」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成30年 経営開始(法人)青年等就農計画の認定人・農地プランに位置付け
- 令和2年 露地野菜(玉ねぎ)生産開始
- 令和3年 経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

- 経営安定のため、生産物の品質の向上、普通作及び複合品目の経営拡大を計画。
- 管理機による防除作業では、準備や圃場間移動に時間を要するなど、降雨後の迅速な薬剤散布に対応しづらい状況であった。
- 適期防除による品質向上や作業効率化を目的とし、農業用ドローンを導入。

【事業実施時の状況】 〈R2年度〉	【現在の経営状況】 〈R5年度〉
○付加価値額 4.7百万円 (売上高 16百万円)	○付加価値額 8.2百万円 (174%) (売上高 20百万円)
○経営面積 24.6ha (水稻1.1ha、麦23.1ha、大豆23ha、玉ねぎ0.4ha)	○経営面積 40.4ha (164%) (水稻9ha、麦31ha、大豆31ha、玉ねぎ0.4ha)

《事業による整備内容》

- 農業用ドローン 1台
事業費 2,420千円
(国費 1,000千円)



事業の効果

《対象者》 効率的な生産体制の強化が図られたことにより、助成対象者への農地面積が進み、経営面積の拡大や付加価値額の向上が実現。

《地区》 地区の中核となる安定した経営が可能な大規模農業経営モデルが確立。